

経済政策研究会議事録

日時：2024年1月25日（木）14時～16時半

場所：永田町海運クラブ308号室

出席者：長瀬、牛嶋、樫、光多

議事次第

1. 最初に光多より別添により本研究会の趣旨を説明。議論を行った。

2. 議事概要

(1) 光多説明

問題意識としては、失われた20年、30年と言われるが、その中で日本の国力の低下はもはや所与のものとして、受け入れられている。90年代以降の経済統計数値を説明。丁度、日本がドイツにGDPに抜かれたとのニュースもあり。この中で「政策の劣化」ともいえる現象が目立つ。例えば、①アベノミクスにおける日銀の量的緩和は外国為替相場以外の効果はほぼ見られなかった。②国土総合開発計画が国土形成計画にシフトし、国土のあり方を考えるスキームとは相当異なる形になっている。③半導体政策に代表されるような先を見通した産業政策がほぼ失われた。また、IT関連政策も諸外国に比べて見劣りがする。④地方創生及び東京一極須集中是正はほぼ効果がない。⑤ガソリン価格高騰対策としてのサプライサイド補助、少子化対策で高校教育無償化等「政策の劣化」の例は枚挙に暇がない。特に、最近の政策は、安易に「財政支出」「税制措置」をツールとするもので“軽い政策”“思いつき政策”が多い。⑥わが国では政策の評価が不十分（ほぼ行われぬ）と言われるが、よく検討されエビデンスに基づいた政策でない限り評価も難しい。

この政策の劣化、計画行政の後退の原因として①主流派経済論としての新自由主義経済論においては、人間の叡智による政策や計画よりは市場を重視する。政策や計画立案により国家の行政を司る官僚の立ち位置が後退する面がある。②政治主導へのシフト、かつ政官関係の変化。他方、官僚制度の変質（国土型⇒調整型⇒吏員型官僚）。また、国際関係、経済金融関係等、多層性、複雑性が増し、縦割り官庁組織では対応しきれなくなってきた。③護送船団方式とも言われる金融制度及び（間接金融主体の）資金調達制度の変化④日本型とも言われる雇用構造（終身雇用・年功序列型賃金）、日本型企业経営（株主よりは従業員重視（藤野経営学、グループ企業間の株式持ち合い）の変化

なぜ、こうなったのかを経済政策策定の面から考えたい。①戦後～90年までの経済政策は比較的うまくいったとすれば、その要因は何か。①ケインズ経済学と新自由主義経済学との盛衰に求めてよいか。②日本の政治行政制度に求めてよいか。③政治・行政制度の変化に求められるのか④経済論の変化に求められるのか。④80年代後半以降のアメリカからの、二国間交渉による経済構造を含めた様々な要求の影響か。

野口旭著「経済政策形成の論理と現実」に基づき、経済政策の推移を説明。①専門的知と既存知の関係②スティグラーは、「各経済主体が競争市場において自らの経済的利害に導かれて行動するのとまったく同様に、政治家、官僚、政策当局者、圧力集団、有権者といった各政治主体もまた、政治市場において経済的利害というインセンティブに導かれて行動すると想定した。このような経済的利害に基づく競争原理は、発見や発明あるいは学問的貢献のような知識市場においても同様に働く」と主張している。③他方、現実には経済政策が正しい経済理論から導き出された事例は多くない。経済政策を最終的に基礎付けるのは理論ではなく価値判断である。野口は、次の事例を挙げる。「特定産業振興臨時措置法と富士八幡合併」「1920年代の金本位制復帰」「デフレ対策（学者、マスコミの様々な意見）」「大恐慌とケインズ経済学」「レーガンミックスと新自由主義経済学」「1980年代から90年代にかけての日米貿易摩擦」④経済政策決定のステークホルダーとして、その時々「行政（官僚）」「（経済）学者」「産業（企業）」「一般国民（含。マスコミ）」「政治家」の5つの集団のせめぎ合いの中で決定される。

(2) 議事

・現実の経済政策は、戦後復興⇒高度経済成長⇒生活大国⇒木瀬尾緩和・国際化という大きな流れがある。

・吉田時代には計画はない。所得倍増計画は最初は、福田赳夫が月給2倍論を言い始めたところから始まった。大来佐武郎が倍層は無理といったが、中山伊知郎が入って国民所得倍増となった。宮澤喜一は所得よりは国民所得ベースでい行くべきだとの論。

・宮沢は生活大国の視点。地球的規模での議論を行った。

・経済社会計画は誰が策定したのかは、内閣によって異なるが、共通しているのは総理自らがリーダーシップを取ったこと。政治信条がある人が総理になるということであろう。

・小倉武一は専門家が何を言っているのかが極めて重要とした、伝統的に、デマンドサイドエコノミーであったが、1980年代以降はサプライサイドエコノミーになってきた。サプライサイドに様々な政策を加えるということ。

・今回は、経済社会計画策定の経緯について議論することとする。